

けん やま

全天周大型映像『剣の山』(仮題)

先生役 募集のお知らせ

*有限会社ライブ (www.live-net.co.jp/) は、フルドーム映像作品「剣の山」(仮題)の松村篤司先生役を再度募集いたします。

<松村篤司>-----

科学部の顧問である松村先生は、亡くなった剣の父親(稔)と山岳部の友人であったことから、単なる先生ではなく父親替わりとして剣を見まもってきました。彼の記憶には、稔が死んだ時の幼い剣の様子がありありと刻み込まれているのです。松村は科学を知識としてではなく、人がより良く生きるための知見を提供するものとして捉えています。彼の目には、黒部の山はいのちと深い関わりを持った存在に見えるのです。父親の死で傷ついた剣の心、それを寄り添うことによっていたわってきた松村ですが、今回の山行きをきっかけに剣の心の中に踏み込んでいくのがこのドラマのクライマックスになります。松村先生はこの作品において、物語を引っ張っていく非常に大切な役柄です。

【今回の募集キャスト】

男性教諭 (健康で40代中盤の年齢に見える方であればご応募いただけます。)

・松村篤司(あつし) 科学部の顧問

剣の父親と友人 40代 大学生の時、剣の父である稔と同じ山岳部に所属。父を亡くした剣のことを小学校の時から見守って来た。中学では理科の教師であり、地球物理や天文にも詳しい。実際に山を肌で知っていることから自然はすべての繋がりから生まれる調和であることを理解している。

*この作品は、富山県黒部市が企画、有限会社ライブが制作を行う大型フルドーム映像作品です。撮影は立山 黒部アルペンルート周辺にてオールロケで行われます。作品は、富山県黒部市の吉田科学館で上映された後、全国のプラネタリウムで配給予定です。ふるってご応募ください!

【ストーリー】 小さな頃に父親を黒部の山で亡くした剣。彼の父は岳人と呼ばれ、山岳救助隊の隊員だった。少年は山に対して、複雑な気持ちを持っていた。中学生になった少年はある年の夏、科学部のキャンプで黒部の山に登る。山に入り、黒部の険しい自然を目の当たりにしながら、山と自分の関係を見つめ直す少年。そして父の友人でもあった顧問の先生や、友人たちに囲まれながら、少年は自分の心の呪縛を徐々に解いていくのであった。

【応募資格】 健康で体力に自信のある方。キャラクターの年齢に見える方であればどなたでもご応募いただけます。 **※通し稽古にご参加できる方**

【スケジュール】

*オーディションH29年6月11日(日) (場所は埼玉県)

*オーディション結果告知 :後日、メールにて

*その後、合格された方は シナリオ読み合わせ、3、4回程度の通し稽古を予定しています(日) 6月~7月中旬

*ロケ日程 **7月27日~8月5日** :富山県黒部市内、立山黒部アルペンルート周辺にてロケ

【撮影場所】

- ・富山県黒部市内生地
- ・立山黒部アルペンルート
- ・室堂
- ・劔沢キャンプ場

【謝礼等】 謝礼有り、通し稽古時の交通費支給、撮影期間内の食事・宿泊代は弊社にて負担(現地では、ほとんど集団行動となります)

<その他のキャスト>

- ・広瀬 剣(けん) 主人公の少年、中学三年生(黒部市生地在住)

父を山で亡くし(小学校3年)、山は恐ろしいもの、避けるべきものという感覚を持っている。一方で、父親に連れられて登った山の記憶はまた別の場所に大切な思い出としてしまわれていた。小学校に上がった頃から、星が好きになる。父と山の上で見た星空がその原点である。おとなしい典型的な天文少年。天文知識なら誰にも負けないという自意識過剰なところもある。科学部に所属。同じ科学部の小島美星に好意を持っている。

・広瀬 涼子 剣の母親 40代 厳しい黒部の環境からか、意志の強い芯のある女性。父親を山で亡くしてから、女手一つで剣を育てた。

・小島美星(みほ) 中学三年生 剣が憧れをいなく、同じ科学部の部員で同級生「みほ」この作品のヒロイン。美星という名前は、彼女の父親が星好きでつけたもの。親の趣味でつけられた名前に反発をするのが普通だが、彼女は類稀な暖かい家庭に育ち、そのまま星好きになった。日常からかけ離れた世界への憧れを強く持ち、その眼差しはとても魅力的である。剣と同じ生地に住み、幼なじみであり、剣の苦悩もよく理解している。昔はよく遊んだが、中学に入ってから、剣が妙に彼女を遠ざけるようになった。

・後藤拓也 科学部の部員「たくぼう」理系の天才。地球の大きさから銀河の星の数まで、めっぽう数字に強い。日本のロケットを語らせたなら右にでるものはいない。

・石野靖久 中学三年生 科学部の部員、お調子者「やっさん」いつもダジャレをいっているムードメーカー。科学部には珍しい体育会系の男子。しかし繊細な神経の持ち主で、剣の苦悩もよく理解し、剣を元気付けようとする。

・後藤拓也 中学三年生 科学部の部員「たくぼう」理系の天才。地球の大きさから銀河の星の数まで、めっぽう数字に強い。日本のロケットを語らせたなら右にでるものはいない。

・金子弘之 中学三年生 科学部の部員「ねこ」愚直で剣のことをいつも親身になって考えてくれる優しい心の持ち主。生地で代々続く魚師の家に育った浜っ子。地元なまりが多少ある。

・大林幸子 中学三年生 科学部の部員「さっちゃん」おとなし目でまじめな女子。

・渡邊ひろみ 中学三年生 科学部の部員「ひろみ」男勝りのリーダー。一年前に東京から引っ越して来た。剣の父親が山で亡くなったことは知っているが、どんな事情で亡くなったかは知らない。話し言葉は完全に東京弁。まだ黒部のことをよく知らない。

【監督・原案・脚本】

上坂浩光 1960年生まれ。

日本を代表するフルドーム映像クリエイター。2009年、小惑星探査機「はやぶさ」の帰還を全編CGで描いた『HAYABUSA -BACK TO THE EARTH-』は、プラネタリウムで上映され大ヒット。多くの人々に感銘を与えた。この作品は角川映画の配給で劇場でも上映された。その後、プラネタリウムフルドーム映像製作の第一人者として認められ、現在にいたる。

受賞歴:

- ・ HAYABUSA - BACK TO THE EARTH -(監督・脚本) 第52回科学技術映像祭文部科学大臣賞 イミロアフルドームフェスティバル2010(アワード) 映文連アワード2011・最優秀作品賞(グランプリ) (<http://www.live-net.co.jp/hayabusa-movie/>)
- ・ 『Eternal Return-いのちを継ぐもの-』(企画・監督・脚本) 映文連アワード2011・文部科学大臣賞、
・ 『MUSICA~宇宙はなぜ美しい?』(監督・脚本) 国際映像祭ドームフェスタ・オーディエンスチョイスアワード1位。マカオ国際フルドームフェスティバルでBest Producer Choise受賞。映文連アワード2013・部門優秀賞 (<http://www.live-net.co.jp/er/>)
- ・ 『すばる望遠鏡 Hyper Suprime-Cam』(監督・脚本) 映文連アワード2014・最優秀作品賞(グランプリ) (https://www.subarutelescope.org/Topics/2014/09/25/j_index.html)
- ・ 『HAYABUSA2 -RETURN TO THE UNIVERSE-』(企画・監督・脚本) 国際映像祭ドームフェスタ・オーディエンスチョイスアワード3位。映文連アワード2014・部門優秀賞・2014年の映文連アワードにて、最優秀クリエイター賞を受賞。(www.live-net.co.jp/hayabusa2/)
- ・ MUSICA ~宇宙はなぜ美しい? ((監督・脚本) 国際科学映像祭グランプリ受賞 (www.live-net.co.jp/musica/)

【選考方法】

1書類選考 メールにて受け付け 可否を通知 2オーディション会場(書類通過者のみ)東京都内、その周辺 通過者のみご連絡

《オーディションについて》

※時間・場所は書類選考通過者にのみ通知します

※オーディション会場までの交通費は各自の負担となります。

